株式会社アドバネクス

2013年3月期第2四半期
決算説明会

2012年11月20日

本資料は2012年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

ADVANEX

主な内容

1. 2013年3月期第2四半期決算の概要
2. 2013年3月期通期見通し
3. 今後の成長戦略

ADVANEX

1. 2013年3月期第2四半期決算の概要

ADVANEX

1-1　第2四半期連結業績概要

（単位：百万円、%）

	2012年3月期 2Q	2013年3月期 2Q	対前期比増減		予想（7月31日公表）	対予想増減（率）
			額	率		
売上高	13,096	12,054	△1,042	△8.0%	12,300	△2.0%
営業利益	409	242	△ 167	△40.8%	260	△6.9%
営業利益率	3.1%	2.0%	△1.1%	－	2.1%	－
経常利益	190	95	△95	△49.9%	100	△5.0%
経常利益率	1.5%	0.8%	△0.7%	－	0.8%	－
四半期純利益	17	127	110	614.5%	160	△20.6%
四半期純利益率	0.1%	1.1%	1.0%	－	1.3%	－

ADVANEX

1-2　第2四半期連結業績のポイント

◆連結売上高は減少、営業・経常利益も減少

売上減少の主要因は、ヒンジ事業の事業縮小と精密ばね事業におけるOA機器やPC関連向けの売上減少。利益面では、ヒンジ事業の営業損失額が前年同期より大幅に縮小したものの、精密ばね事業の収益が悪化。プラスチック事業も国内外の人件費増加により利益が減少。

◆特別利益の計上により最終利益は増加

昨年10月に洪水被害を受けたタイ工場の保険金収入167百万円を1Qに特別利益として計上。四半期純利益は、前年同期よりも110百万円増加。

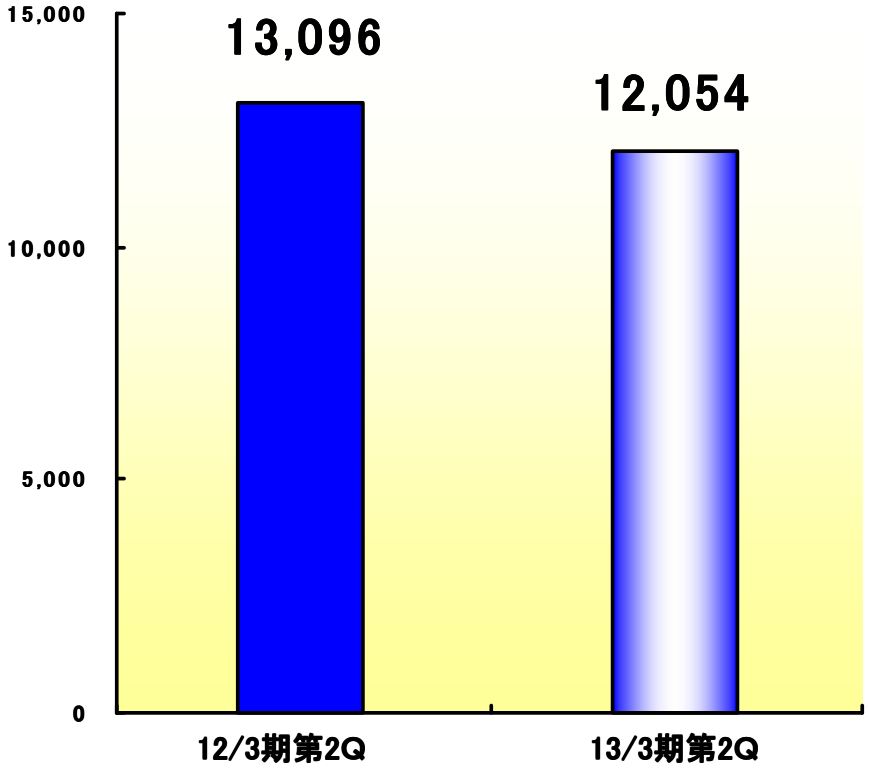
◆自動車向けの売上がOA機器向けを逆転

精密ばね事業とプラスチック事業において、自動車向けの売上高が国内外で伸長。OA機器向けを抜き、市場別売上高の首位に上昇。（34%）

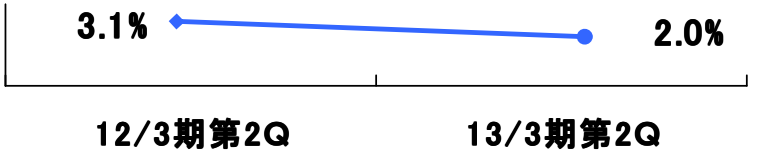
1-3　第2四半期業績推移(連結)

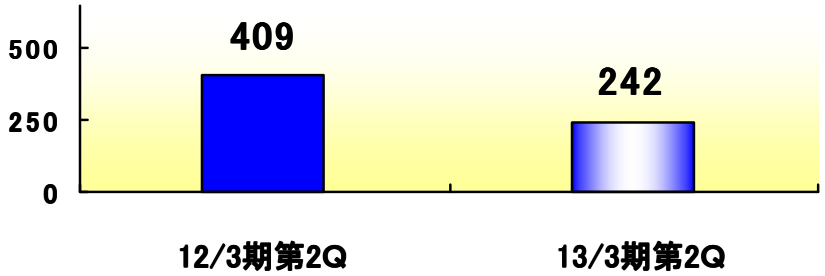
売上高

(単位:百万円)

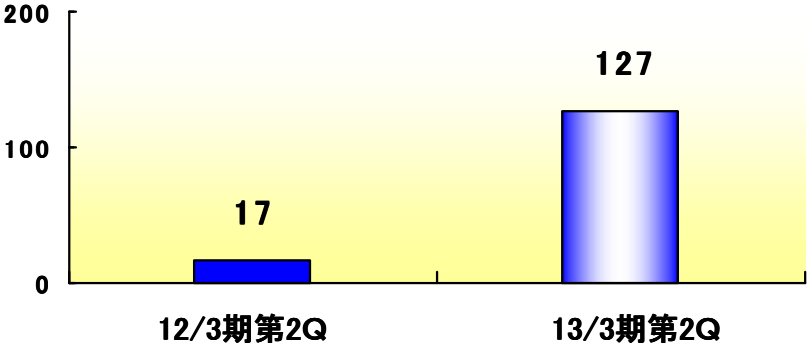


営業利益・利益率





四半期純利益

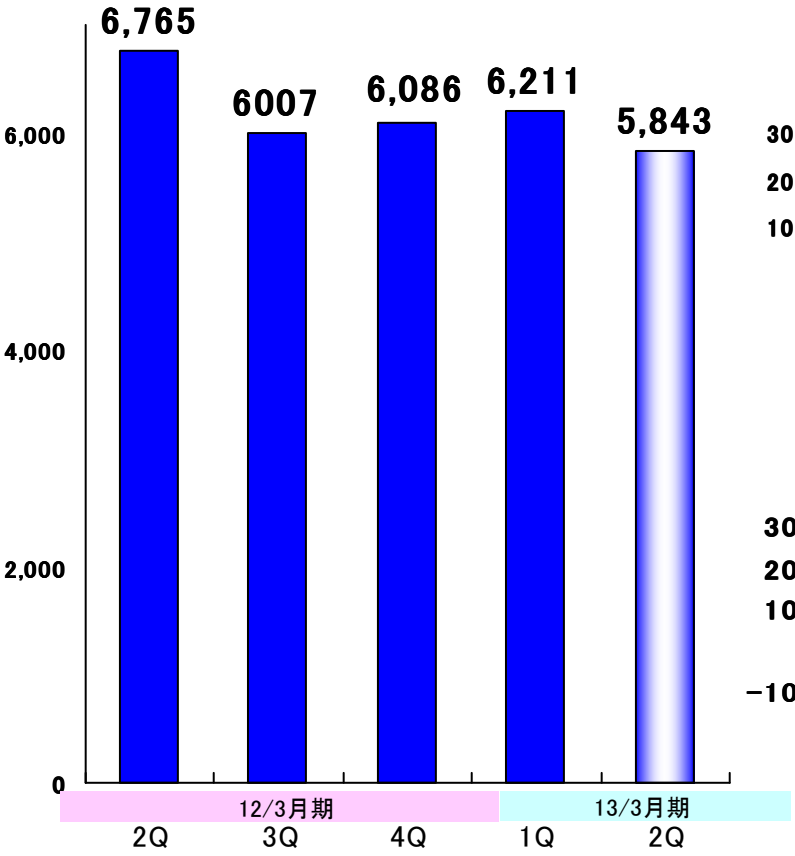


ADVANEX

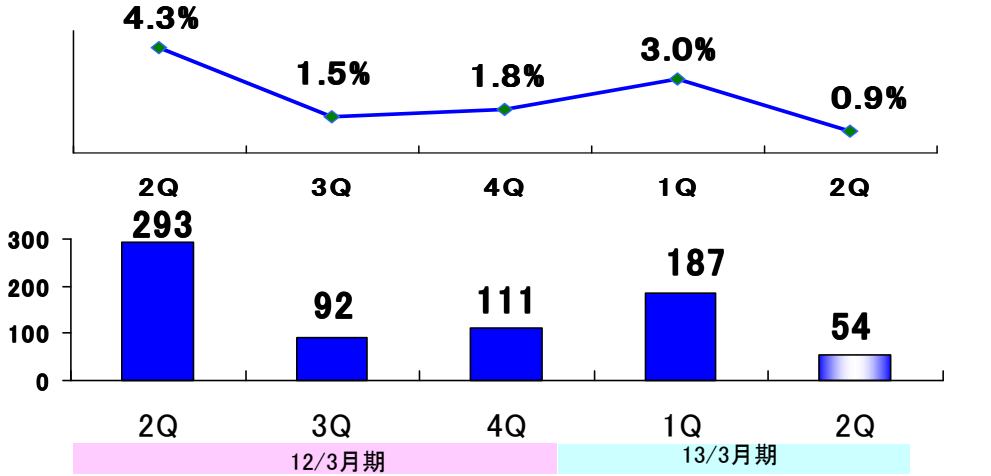
1-4　四半期別業績推移(連結)

売上高

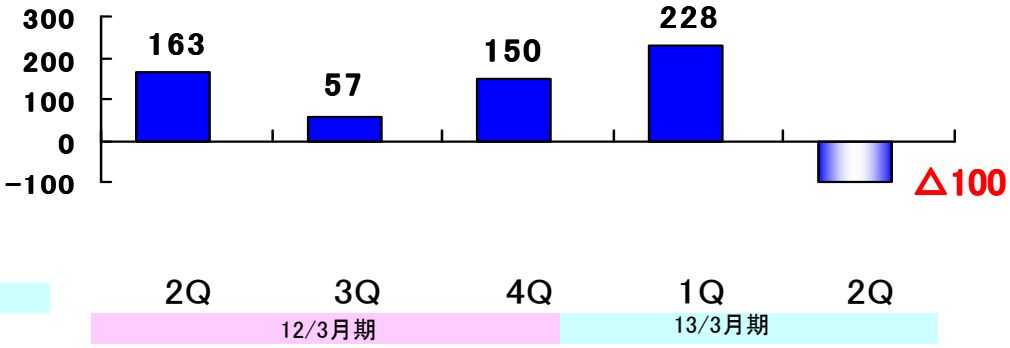
(単位:百万円)



営業利益・利益率



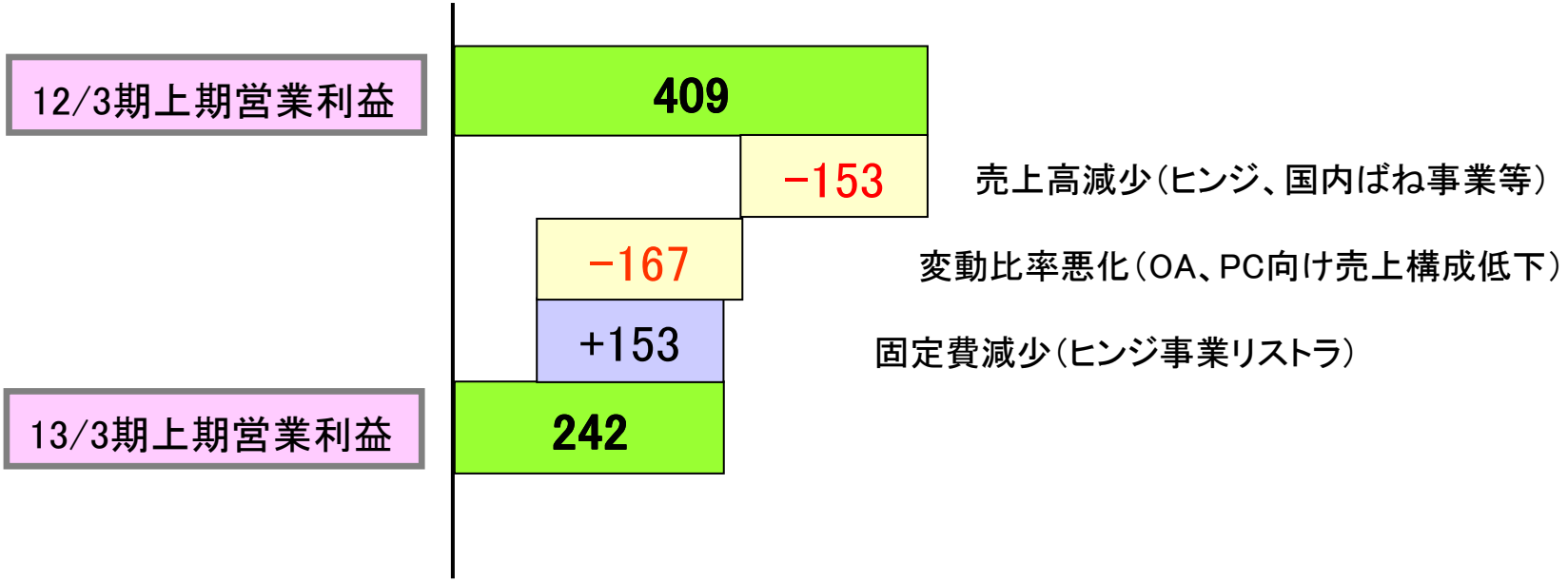
当期純利益



ADVANEX

1-5　営業利益差異分析（連結）

（単位：百万円）



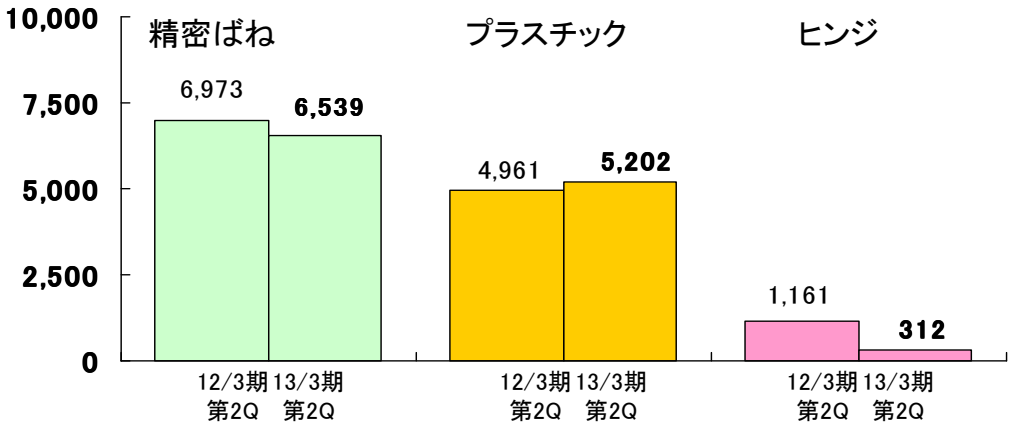
前年同期に比べ、営業利益は167百万円減少。事業縮小に伴いヒンジ事業の売上高が838百万円減少したことに加え、国内ばね事業の売上減少の影響があった。また、収益性の高いOA機器向け、PC関連機器向けの売上構成比が低下したため、変動比率が悪化した。一方、固定費は、プラスチック事業で国内外の人件費が増加したものの、ヒンジ事業のリストラによる減少が大きかった。

ADVANEX

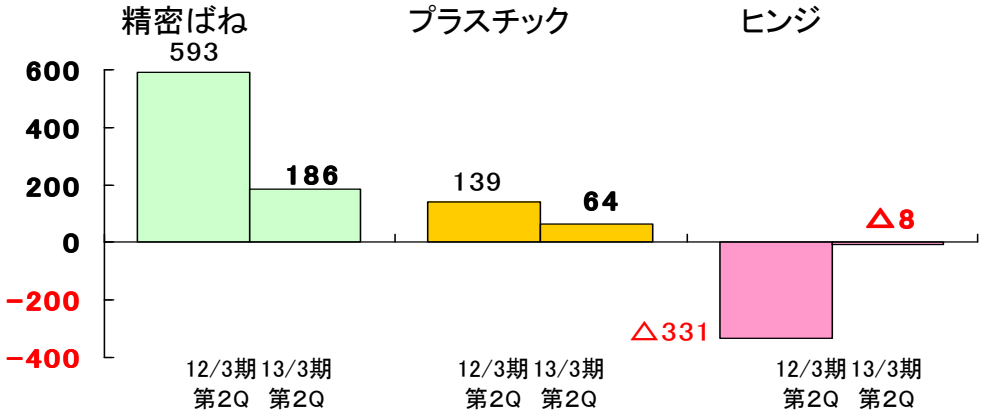
1-6　事業別売上高・セグメント利益

売上高

（単位：百万円）



セグメント利益



＜前第2四半期からの変動要因＞

精密ばね

・国内は自動車向けの売上が増加したものの、収益性の高いOA機器・PC関連向けの売上が減少。
・海外は、アジアの売り上げが伸び悩み。英国は減収・減益。
・国内と英国の利益落ち込みにより、収益が減少。
＜売上：△ 6.2% 、セグメント利益：407百万円減少＞

プラスチック

・国内はOA機器向けの売上が減少したものの、自動車向けの売上が伸長。
・海外も中国やベトナムで自動車向けの売上が増加。
・国内および中国で、賞与や賃上げ等に伴い人件費が増加したため、収益は減少。
＜売上：+4.9%、セグメント利益：74百万円減少＞

ヒンジ

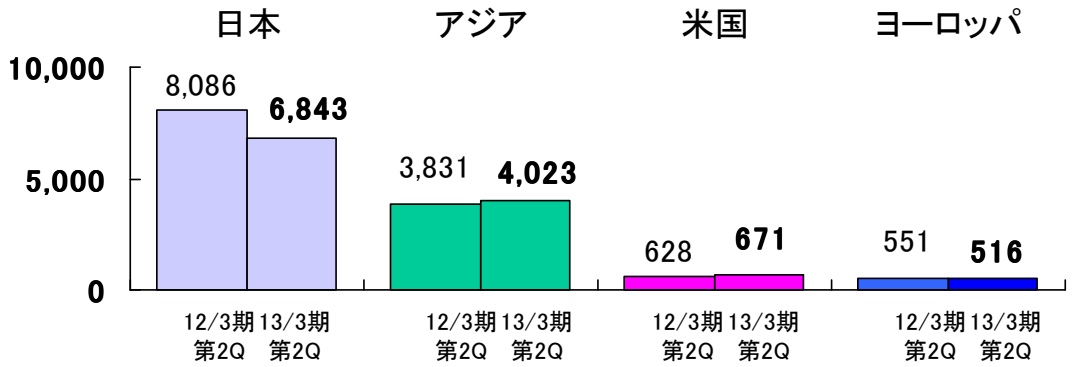
・携帯電話向け事業の縮小とPC向け事業の売却に伴い、売上が減少。
・製品価格の値上げや人件費等の固定費削減により、損失額が大幅に減少。
＜売上：△73.1%、セグメント損失：322百万円減少＞

ADVANEX

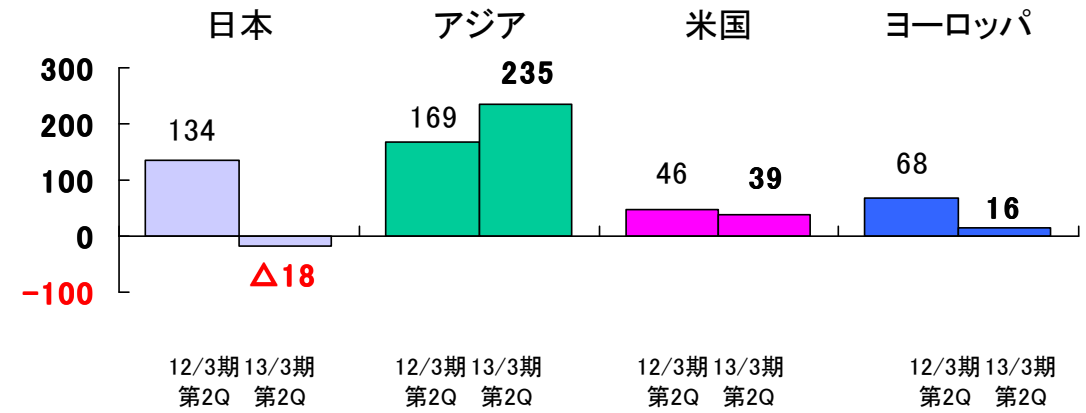
1-7　所在地別売上高・セグメント利益

売上高

（単位：百万円）



セグメント利益



＜前第2Qからの変動要因＞

日本

・ヒンジ事業の売上減少と精密ばね事業においてOA機器とPC関連向けの売上が減少。

・ヒンジ事業の損失が減少したものの、国内精密ばね事業とプラスチック事業で利益が減少。

＜売上：△15.4%、営業損益：153百万円悪化

海外

・欧州は医療機器向けの売上減少により減益。

・アジアは精密ばね事業が売上・利益とも伸び悩んだが、プラスチック事業において自動車向け等の売上が伸び、利益が増加。

＜売上：+4.0%、営業利益：7百万円増加＞

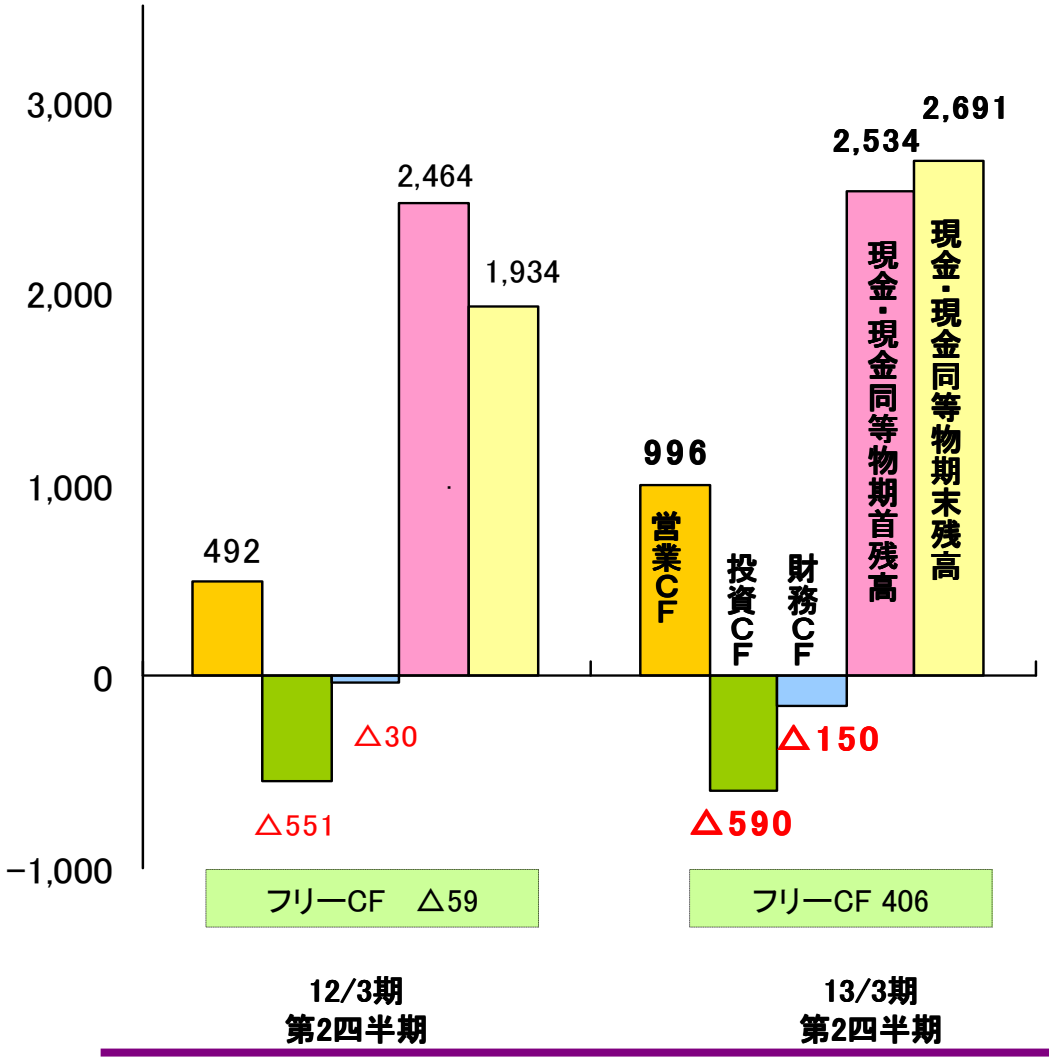
ADVANEX

1-8　連結市場別売上高

（百万円）	12年3月期		13年3月期		増減	
	上期	構成比	上期	構成比	額	増減率
OA機器	3,857	29.5%	3,477	28.8%	△380	△9.9%
自動車機器	3,005	22.9%	4,121	34.2%	1,115	37.1%
PC・周辺機器	1,108	8.5%	440	3.6%	△668	△60.3%
携帯情報端末	813	6.2%	377	3.1%	△436	△53.6%
AV・家電	764	5.8%	666	5.5%	△98	△12.8%
精密機器	887	6.8%	612	5.1%	△275	△31.0%
医療機器	409	3.1%	352	2.9%	△57	△13.9%
住設機器	901	6.9%	778	6.5%	△123	△13.7%
その他	1,352	10.3%	1,231	10.2%	△121	△8.9%
合計	13,096	100.0%	12,054	100.0%	△1,042	△ 8.0 %

ADVANEX

1−9　連結キャッシュ・フロー



＜13/3期第2四半期の状況＞

Cashは前期末から157百万円増加

営業活動によるCF

純利益の増加、減価償却費による資金留保等により、資金が996百万円増加

投資活動によるCF

国内やタイ工場等における機械設備等の投資、マレーシア子会社の株式追加取得により、資金が590百万円減少

財務活動によるCF

銀行借入金の返済により、資金が150百万円減少

ADVANEX

2. 2013年3月期通期見通し

2-1　2013年3月期通期業績予想（連結）

（百万円）	2012年3月期	2013年3月期 通期予想	対前年比 増減（率）	前回予想 （7月31日公表）	対前回 予想比 増減（率）
売上高	**25,191**	**23,400**	**△7.1%**	**25,000**	**△ 6.4%**
営業利益	**612**	**400**	**△34.7%**	**650**	**△ 38.5%**
営業利益率	2.4%	1.7%	－	2.6%	－
経常利益	**470**	**180**	**△61.7%**	**350**	**△ 48.6%**
当期純利益	**226**	**140**	**△38.2%**	**300**	**△ 53.3%**

ADVANEX

2-2　通期業績予想の修正について

◆売上高・利益ともに通期は減額

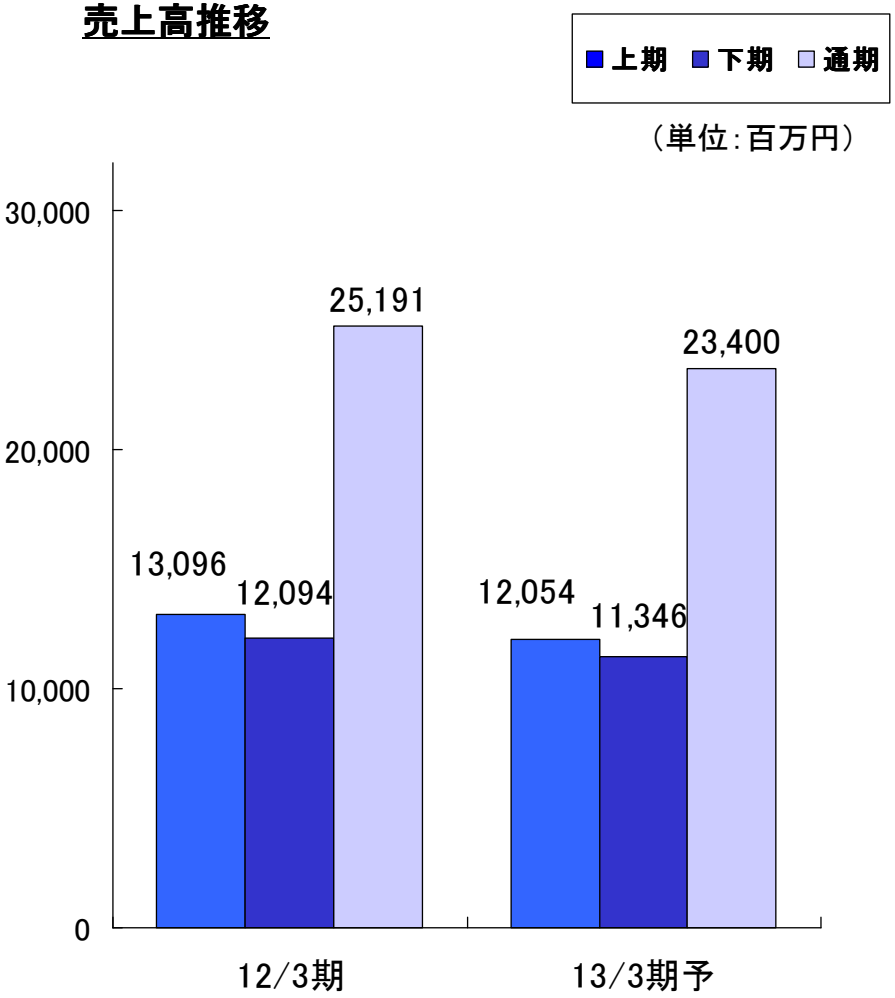
下期は、海外景気の停滞や新興国の景気減速に加え、日中関係の悪化による日系自動車メーカーの生産・販売減少が見込まれる。このため、精密ばね事業とプラスチック事業において、国内およびアジアでOA機器向けや自動車向けの販売が上期より減少する見込み。プラスチック事業を中心に下期ではコスト削減を図るものの、利益は上期より減少。通期の業績は、前回予想をかなり下回る見込み。

◆配当予想は修正なし

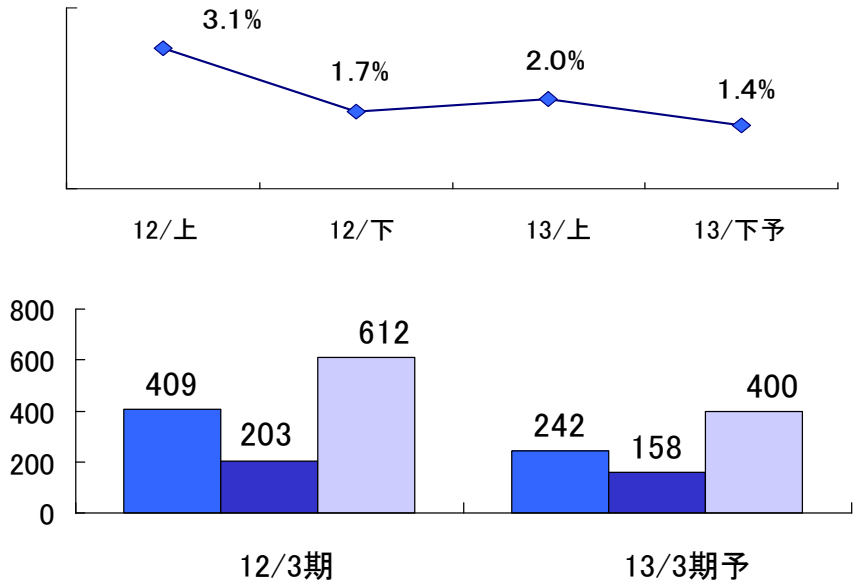
期末に1株あたり1円の配当を予定。

2-3 業績推移(連結)

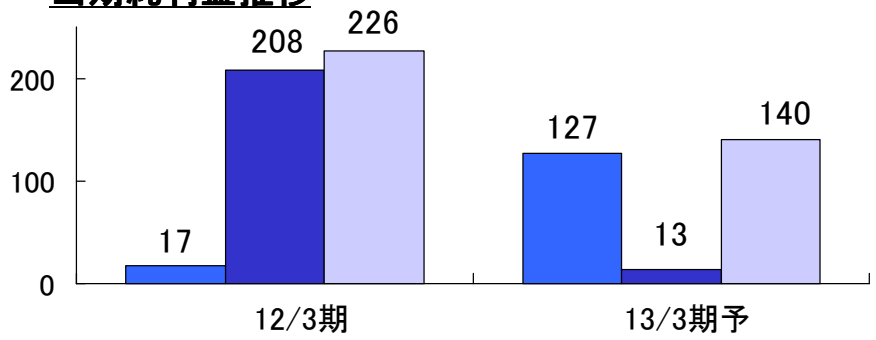
売上高推移



営業利益・営業利益率(%)推移



当期純利益推移

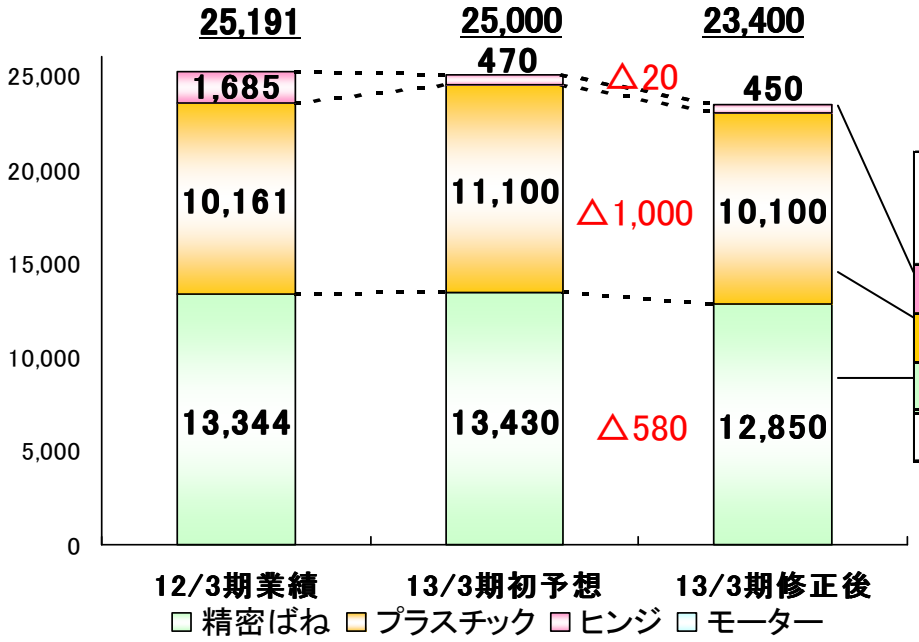


ADVANEX

2-4　セグメント予想の修正

売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

	12/3期 業績	13/3期 期初予想	13/3期 修正後	増減額
ヒンジ	△559	△40	△10	30
プラスチック	245	310	140	△170
精密ばね	908	380	270	△110
合計	612	650	400	△250

＜修正の要因＞

精密ばね事業、プラスチック事業ともに、OA機器向けや自動車向けの売上減少の影響が大きい。期初予想では下期の売上が上期よりも増加する見込みであったが、両事業とも自動車向けを中心に売上が落ち込むため、下期の売上は上期を下回る見込みとなった。

ADVANEX

3. 今後の成長戦略

3-1　今後の成長戦略（1）

精密ばね事業

・重点分野は自動車、OA機器、医療

・国内外でM&A展開

・国内はエリア拡大、Web活用、提案営業強化による販売拡大

・アジアでの生産拡大（中国、インドに新工場建設）と組織体制構築

・グループネットワーク型経営の強化

・“世界一商品”戦略展開（高付加価値自社製品の開発・販売強化）

3-2　組織改革について（10月1日付）

1）営業体制強化

営業本部を国内営業本部とグローバル事業本部に分割

グローバル事業本部

・営業に加えて技術、品質保証の要員を配置
・日系顧客の海外生産移転と事業展開を専門スタッフが全面的にサポート
・国内同等の製品品質・提案・サービスを提供
・アジア子会社の売上増加につなげる

国内営業本部

・国内売上拡大にフォーカス
・販売エリア拡大、提案営業強化、Web活用等による販売強化

2）製品開発体制強化

開発マーケティング部を本部に属さない独立部門として設置

・マーケティング機能と製品開発機能を合体
・市場のニーズに基づいたオリジナル商品を開発

ADVANEX

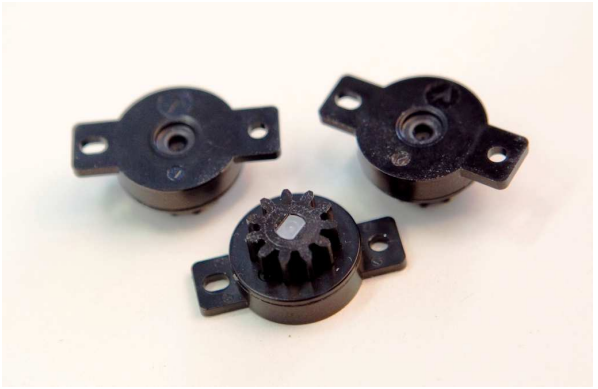
3-3　自社開発の戦略商品



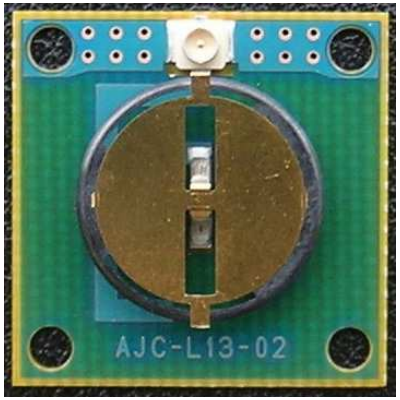
コイルスレッド（右がタングレス）



インサートカラー



ダンパー



トランスファージェット向けカプラー



TAMONT（ナット緩み止め部品）

工場内の世界一マーク

ADVANEX

3-4　中国新工場の設立について

常州工場の概要

所在地:　　中国江蘇省常州市（上海から190km、蘇州市から90km）

設立目的:　上海工場の顧客が市外に移転。顧客の多い蘇州と無錫の近郊に中国第4番目の精密ばね生産拠点として新会社を設立。
OA機器向けに加えて、自動車向け販売拡大を計画。欧米部品メーカー向け販売を今後強化し、グループ最大の工場を目指す。

投資額:　　2.5百万米ドル（約2億円、シンガポール子会社が全額出資）

スケジュール:　本年１２月に会社設立、来年４月から量産開始



9月27日の
契約調印式



新工場外観
（1F部分を
賃借）

ADVANEX

3-5　今後の成長戦略（2）

プラスチック事業

・自動車、住宅設備向けの販売増加
・提案活動強化
・グローバルセールス拡大（マレーシア、中国、ベトナム）と利益率改善
・高付加価値製品（セラミック、インサート成形品等）の開発・販売強化

実行施策

・マレーシア子会社の完全子会社化（5月に現地資本の30%株式取得）
　アセアン市場開拓とコスト管理強化
・営業体制強化
　営業部門とコスト見積り部門を一体化、受注率アップにつなげる
　グローバルプロジェクトチーム新設
　（国内・海外とも営業マンと技術者がチームを組んで新規顧客開拓）
・セラミック事業部新設（高収益商品の販売強化）

ADVANEX

（お問い合わせ先）

株式会社アドバネクス
広報IR部

TEL：03 － 3822 － 5865　　FAX：03 － 3822 － 5873

URL：http：//www.advanex.co.jp